

例会日:木曜日 12:30~13:30 例会場:尼崎市昭和通 2丁目7番1号 都ホテルニューアルカイツク  
 毎月最終例会 18:30~19:30 事務局:尼崎市昭和通 2丁目6番68号 尼崎市中小企業センター5階  
 TEL 06 (6401) 7573 FAX 06 (6401) 7590  
 http://www.amagasaki-southrc.com E-mail amasrc@amagasaki-southrc.com  
 会長 松田高基 幹事 小島成介 広報委員長 與那嶺まり子



VOL.27 No. 32 2013-2014

Today's program	Next program
3月6日 (第1242回例会) 「米山奨学生」 金蘭氏	3月13日 「」

前回(2月27日)の報告

1. ビジター紹介

小坂圭一氏 (尼崎東 RC)



2. 会長の時間

先日内閣府が、「国立社会保障・人口問題研究所」の推計を受けて、何もしなければ人口が2012年の1億2752万人から2110年には4286万人に減ってしまいますが、外国からの移民を毎年20万人受け入れ、出生率も上がれば100年後も1億人以上を維持できるとの試算を示し、今後、政府は議論を本格化させるという文言もありました。

原発の事故前ならともかく、今の日本に20万人もの人が移民を希望するとは思えず、政府は本当にそのようなことを議題にしようとしているのでしょうか？

政府の経済諮問会議の下で50年先を見据えた議題を話し合う専門調査会で「選択する未来委員会」という会の第3回会合で示されたようです。

労働力の減少や、社会保障の負担増に直面する日本を、移民外国人に頼って大丈夫なのでしょうか？政府は本当に議論を本格化させるのでしょうか？疑問に思います。少子高齢化の日本では簡単に解決できる答えは無いように思いますが、それでも出生率を上げられるよう、何か施策を考える事が大事なのではないのでしょうか？

そんな日本もアジアの一国ではありますが、今「アジアベビー市場を狙え」というキャッチコピーで活性化している業界があります。

それは新生児用の紙オムツや粉ミルクなどの業界で、アジア全体の所得向上と衛生意識普及の相乗効果で、中国だけでなくインド、パキスタン、バングラデシュなどを含むアジアの需要が拡大し、欧米や日本の企業が成長市場の取り込みに動き始めています。

ユニセフの世界子供白書2013によると、2013年の世界全体の出生数は1億3500万人でそのうちアジアだけで6600万人と半数近くを占めています。因みに、日本の107万人に比べ、インドが2710万人、中国1636万人、パキスタン476万人、インドネシア433万人、バングラデシュ302万人など羨ましい限りです。

かつて経済大国、技術大国と呼ばれ、アジアだけでなく世界を牽引してきた日本に戻るには、少子高齢化を解消し、若い労働力人口を増やさなければなりません。安心して子供を産める環境や制度を創り、再生医療同様、早ければ10年後、遅くとも20年後には再び、世界を牽引する日本であってほしいと願います。

3. 幹事報告

○3/1-3/2に地区大会が神戸ポートピアホテルで行われます。1日は会長、幹事が出席します。

2日は10時から本会議がございまして出席を宜しくお願い申し上げます。

○尼崎北 RC より創立 50 周年の記念誌が届いています。BOX の上に置いていますのでご覧ください。

○地区から委嘱状が届いています。

久保会員にロータリー財団委員会補助金小委員会委員として

島谷会員に職業奉仕委員会委員として

基本に帰ろう

2013-2014 会長方針

2013-2014年度 会長 松田高基

Engage Rotary, Change Lives

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013-2014 国際ロータリー会長

Ron.D.Burton ロン.D.パートン



The Rotary Club Of Amagasaki South  
Rotary Club International Dist.2680



